

## 「20世紀美術にみる人間展」

2004年10月23日[土]－12月12日[日]

三重県立美術館は一昨年从去年にかけて増改築工事に伴う休館中、主要な所蔵作品の保管を愛知県美術館に依頼していましたが、その間愛知県美術館の常設展示(所蔵品展)には、折にふれて三重県立美術館の所蔵作品が登場することになりました。

愛知県美術館と三重県立美術館両館の所蔵作品によって構成されたこの展示は、多くのことを教えてくれました。その一つは、常日頃接していながら気づかなかったり見落としていた作品の持ち味とか個性です。異なる展示空間に置かれると、作品が別の顔を見せるということはよくあることですが、愛知県美術館の展示室で旧知の作品の意外な一面に驚かされることがしばしばあったということです。

二つ目は、両館の作品を合わせて構成すると様々なテーマやジャンルで密度が高い展示が可能だということです。三重県立美術館は1982年の開館、愛知県美術館が1992年の開館ですから、美術館としての歴史は決して長くありません。その所蔵作品も美術館コレクションとしては形成途上というべきで、手薄な分野や時代があることは否定できません。しかし、二館のコレクションを合体することによって、単独館の所蔵品では難しかった魅力的な展示が可能になったのです。

こうしたことを直接的な契機の一つとし、また地理的に近く人々の往来も盛んな愛知、三重、岐阜の三県立美術館が連携協力する活動がもっとあってもよいのではないかという考えから、三館コレクションによる「20世紀美術にみる人間展」が実現することになりました。

三館コレクションによる展覧会は、愛知・岐阜両県でも近い将来に開催が計画されています。コレクションをどのように料理するか、各館学芸員の腕の見せどころといえるでしょう。また、将来的には各館の独自性を保ちつつ、広報や教育普及、災害時の相互支援など広範な分野で相互協力が行えないか関係者で協議を進めているところです。

(MI)



パウル・クレー《回心した女の墮落》1939年  
愛知県美術館蔵



ポール・ゴーギャン《ノア・ノア(かぐわしい)》  
1893-94年 岐阜県美術館蔵



オーギュスト・ルノワール《青い服を着た若い女》  
1876年頃 三重県立美術館蔵